

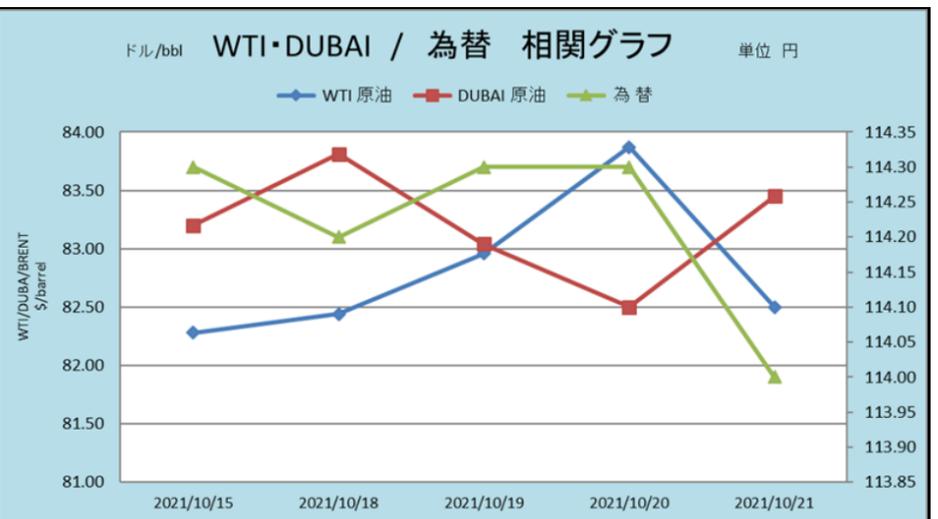
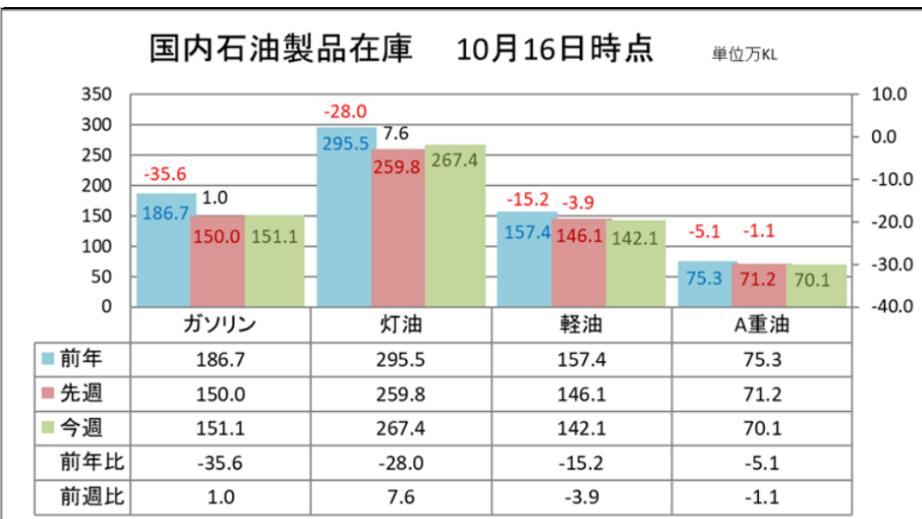
イデックスオイルレポート ~For a week~

2021/10/22作成 (株)新出光

【概況】<供給不足懸念が再加速>

- 15日、国際エネルギー機関(IEA)は月報で、2021年および2022年の世界の石油需要予想を上方修正したことやOPECの増産への慎重な姿勢を崩さない考えが伝わり買いが膨らみました。
- 18日、中国や欧州などでの石炭・天然ガスの価格高騰を受けて原油への燃料の切り替えが促されるなか、さらに北半球で暖房需要が本格化する冬を迎えるため、原油供給不足が深刻化すると不安が原油相場の上値追いに拍車を掛けたようです。
- 19日、エネルギー供給不足が一段と悪化するとの見方から、原油買いが継続しています。バイデン米政権は18日、大幅な増産に対して慎重な姿勢を崩していないOPECプラスに対し、対応を要請すると表明しました。
- 20日、中国国家発展改革委員会(NDRC)は、主要な業者や団体らと協議し、政府の介入で「妥当な範囲」まで石炭価格を引き下げる方策を検討していると発表しました。これを受け、同国の商品取引所では一般炭先物が大幅下落し、石油などその他のエネルギー商品にも売りが波及し、WTI原油相場は一時81.30ドルの安値を付けました。しかし、米エネルギー情報局(EIA)が在庫週報を発表すると、流れはふたたび上昇基調となりました。原油在庫は190万バレル増の市場予想に対して40万バレル減となったほか、石油製品もガソリンが540万バレル減、ディステレート(留出油)が390万バレル減と、それぞれ大幅な取り崩しとなったようです。
- 21日、原油・石油製品の在庫減少が示されたことで需給逼迫懸念が強まり上昇していましたが、原油高騰による利益確定の売りが台頭し下落しました。

10月22日 17:00現在 WTI原油 82.50ドル 為替 1ドル 113.89円



	次回元売変動予測	
	10/28~	元売変動予測
ガソリン	➡	+0.5~+1.0
灯油	➡	+0.5~+1.0
軽油	➡	+0.5~+1.0
A重油	➡	+0.5~+1.0
LSA	➡	+0.5~+1.0

【製品卸価格】<各地月間玉の販売強まる>

《今週》今週の元売り仕切り改定はENEOS・コスモ「+3.0円」、出光「+2.5円」の値上げでした。先週の改定のズレをここで出光興産は調整した形です。改定後での月間リンク玉の台頭が懸念されるどころでしたが、まずはコスモの改定ラグ玉が無くなるのを待って、金曜日分から販売を強めたようです。

《10月23日以降》次回の元売り改定は、現状の原油コストで「+0.5~+1.0円」の小幅変動予測です。次回も小幅値上げが予測されますが、10/28~もしくは11/4~の改定のどちらかに原油調整金の「-0.9円」が原油コストに加味される予定となっています。週末の取引としましては、他社買いを避け、自社玉消化を優先するディーラーが多く窺えました。月間リンク玉の消化がネックとなっており、一部の届け取引では安値対応も聞こえてきています。今週は全国的に気温が低くなったため、東北ではSSでの灯油の給油が見られるなど、灯油需要期の本格化が感じられます。次週は値上げ改定の予測ですが、月間リンク玉の仕入れコストとしては今の市況と比較し、1円程度安値の水準になることが推測されますので、消化の進捗によっては、値上げ改定にも関わらず市況があまり上がらない状況も十分考えられそうです。

※現段階の原油コストによる予想です。

【次世代エネルギー】<日本グリーンLPガス推進協議会設立>

LPG輸入元売りの大手5社(アストモスエネルギー、ENEOSグローブ、ジクシス、ジャパングスエナジー、岩谷産業)で一般社団法人「日本グリーンLPガス推進協議会」を新たに設立し、LPG(プロパン・ブタン)のグリーン化事業を共同して進めるようです。100%近い収率でLPGを製造する新たな技術(プロパネーション・ブタネーション)を北九州市立大学との連携によって確立することを目指します。FTをはじめとする従来の燃料合成技術でのLPG製造には非効率な面がありましたが、この新技術ではCO2を直接水素と効率的に反応させることができ、高い得率でLPGの製造が可能となります。また、この協議会ではLPGと類似した特性を有するDME(ジメチルエーテル)からLPGを製造する技術の確立に向け、大手触媒メーカー等との共同研究開発も進めていきます。

[出典]

- ① <https://www.i-lpgas.gr.jp/>
- ② <https://www.nikkei.com/article/DGKKZO76795210Z11C21A0TB2000/>